

北薩森林管理署交渉（全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会）

議事要旨

1 日 時 令和5年6月27日（火） 17:30～18:30（60分）

2 場 所 北薩森林管理署 会議室

3 出席者

北薩森林管理署	佐藤 敏郎	署長
同	石原 健司郎	次長
同	余瀬 秀一	総括事務管理官
全国林野関連労働組合北薩森林管理署分会	白内 慎哉	執行委員長
同	猪瀧 憲治	書記長
同	川畑 勇二	執行委員
同	平生 貴成	執行委員
同	東 祐太	執行委員

4 交渉事項

- （1）労働安全の強化及び職員の健康維持について
- （2）令和5年度の事業量増加に対する具体的対策について
- （3）要員の確保及び現場管理機能に係る課題について
- （4）旅費の支払いについて
- （5）テレワーク勤務に伴う経費負担について
- （6）システム関連課題について
- （7）その他

5 議事概要

(1) 労働安全の強化及び職員の健康維持について

職員団体) 今年度における安全に対する取組みについて、当局としてどう考えているのか伺う。

当局) 職員の労働安全の確保については、様々な事業を進めて行く上での最重要課題と認識しており、何事においても安全の確保を最優先に取り組む考えである。

職員に対しては、労働安全の確保対策の徹底、安全への意識を高める勉強会等の開催、安全ミーティングへの参加などに取り組んで行き、職員の労働安全の確保に取り組んでまいりたい。

また、請負事業者等の労働安全についても、発注者の立場から請負事業、立木販売における労働災害に未然防止に向け、指導する事項が作業をする方々にも伝わるように積極的に取り組んでまいりたい。

職員団体) また、職員の心と体の健康づくりについて、当局の考えを伺う。

当局) 署長をはじめ管理監督者が目配り、気配りを常に行い、率先して明るい職場づくりに取り組むとともに、相談しやすいような環境づくりに努め、早期発見、早期治療ができるように取り組んでまいりたい。

(2) 令和5年度の事業量増加に対する具体的対策について

職員団体) 事業量(収穫量・生産量)が増加傾向にある中、慢性的な要員不足に伴う職員への負担増や資源の状況、事業者の体力等、今後の事業の見通しなど当局としてどのように認識しているのか伺う。

当局) 事業量の確保や収入確保が大変厳しい状況になってきていると認識しており、事業計画の策定や資源量や事業者の受注体制等の状況の把握も含め、署一丸となって取り組んでまいりたい。

職員団体) 今後も収穫量、生産量ともに増加となることを踏まえ、精度の高い経営計画の策定、また林道の効率的な計画策定や林道開設に必要な予算確保をお願いする。

当局) 令和7年度の計画樹立に向け、予備編成となる今年度が重要な年になると考えている。

しっかりとした経営計画が策定できるよう署全体として取り組んでまいりたい。

特に林道計画については、経験者の助言等も得ながら効果的な計画を立てられるように取り組むとともに、1本でも多く林道が開設できるよう、必要な予算確保については上局に要求してまいりたい。

(3) 要員の確保及び現場管理機能に係る課題について

職員団体) 令和4年度の超過勤務については、前年度と比べ大幅な増加となっている。このことは慢性的な要員不足と業務量が増えていることが要因ではないかと考える。

当局として令和4年度における年休取得状況と超過勤務の状況をどのように分析されているのか伺う。また、現場管理機能に係る課題についての考えを伺う。

当局) 年次有給休暇を取得しやすいような雰囲気づくりや、定期的に取得状況を確認し、声かけを行うなど、職員が年次有給休暇を取得できるように取り組んでまいりたい。

超過勤務が多くなっている職員に対しては、目配り、気配りや必要に応じて応援体制を図りながら、超過勤務の縮減に取り組んでまいりたい。

また、現場管理機能の低下への懸念については、巡検や巡視等における必要予算を確保し、現場系非常勤職員の雇用の確保を図ってまいりたい。

職員団体) 慢性的な要員不足の中で、毎年交渉で適正な人員配置を求めてきたが解消には至っていない。また、今年度から定員合理化で治山技術官の役減と森林整備官の3G→2Gへの級の格下げとなった。

この実態について当局としてどう考えているか伺う。

当局) 引き続き、空席ポストを解消については強く上局へ伝えてまいりたい。

現状としては、フルタイム再任用雇用や非常勤職員の予算を確保するなどして、業務に支障が生じないように対応してまいりたい。

また、治山技術官の役減や森林整備官の級の格下げについては、これ以上の役減や引き下げが行われないう上局へ申し入れてまいりたい。

職員団体) 引き続き現場森林官等の適正な人員配置を求めるとともに、現場系の期間業務職員の配置の検討を要求する。

なお、若手職員が森林整備官や森林官と同等の業務を行っていることについては、適正な人事評価と能力のある者の早期任用を図るよう求める。

また、併任発令の森林官等の負担は大きいことから、署としての応援体制等を図るようお願いする。

当局) 森林事務所の併任発令については、引き続き、空席ポストの解消に向けて強く上局へ伝えてまいりたい。

現場系の期間業務職員の配置の検討については、現場業務に精通した対象者がいれば検討していくとともに、非常勤職員の予算の確保についてはしっかりと取り組んでまいりたい。

なお、若手職員が上位の級の業務を担っていることについては、適切に評価してまいりたい。

また、併任発令の森林官に対して、署全体でどのようなサポート体制がとれるか、しっかりと考えてまいりたい。

(4) 旅費の支払いについて

職員団体) 旅費の支払いについて、4月旅費の支払いが滞っている状況がみられる。

早急に支払うよう、局の支払体制を含め要求する。

また、赴任旅費について、高額であり作成も容易ではないことから、赴任旅費だけでも精通した者が作成するなどの検討をしていただきたい。

当局) 旅費の早期の支払い、赴任旅費だけでも精通した者が作成するなどのご意見やご要望については、しっかりと上局へ伝えてまいりたい。

(5) テレワーク勤務に伴う経費負担について

職員団体) GSSネットワーク移行に伴い、これまで以上にテレワーク勤務が増える状況が予想される。

当局は、テレワーク実施に係る高熱費、電話料は原則自己負担としているが、職員の負担を減らす取り組みを要求する。

当局) 現状のテレワーク実施要領等においては、テレワーク実施に係る高熱費、通信費等は原則自己負担となっている。

引き続き、貴組合並びに職員のご理解とご協力をお願いすることになるが、ご意見、ご要望については、しっかりと上局へ伝えてまいりたい。

(6) システム関連課題について

職員団体) 各種システム関連の導入や移行については、しっかりとした期間でわかりやすいマニュアルの整備や説明会の開催など、職員の業務負担とならないよう配慮をもった対応をお願いします。

また、人材統合システムに係る署担当者の業務負担について、意見交換会等の実施などを検討いただくよう上局にお伝え願いたい。

当局) システム関連課題については、上局に対しては的確な情報の共有や丁寧な対応方法の指導等について伝えてまいりたい。

なお、人材統合システム等に係る意見交換会等の実施については、局担当課に上申したい。

(7) その他

職員団体) 新たに導入された「相続土地国庫帰属制度」に係る申請手続や風力発電事業の署の取組み体制も含め、どのように考えているか伺う。

当局) 管理担当者任せにすることなく、管理者も含め情報共有、連携を図りながら進めてまいりたい。